

南山大学図書館報

ΔΥΝΑΜΙΣ

No. 29

1996.4.1

読 み 語 り

唐津 博

ミヒャエル・エンデ『はてしない物語』（上田真而子・佐藤真理子訳、岩波書店）とリチャード・ケネディ『ふしぎをのせたアリエル号』（中川千尋訳、福武書店）。これが、現在中学1年、小学4年そして小学2年のわが息子たちに選んでもらった、彼らの好きな本です。といっても、彼らの愛読書というわけではありません。毎晩、布団に入って寝る前に、わたしと妻のどちらかが読み語りをした本のなかから、選んだとくにお気に入りの本なのです。『はてしない物語』が26話、約600頁、『ふしぎをのせたアリエル号』が49話、約660頁の読みごたえのある本。その奇想天外、卓抜な創造力に満ち溢れたストーリーの展開に、親子ともどもに胸をときめかせながら、ほぼ毎晩一話、十数頁ずつ、興に乗るとそれ以上の分量を30分以上もかけて、読み継いだのでした。この2冊は、その抜群のおもしろさに魅せられて、息子たちの再度のリクエストに応じて2度、3度と読んだものです。共稼ぎのわが家では、息子たちのゼロ歳児からの保育園での生活習慣の多くがそのまま家庭で定着したのですが、この本の読み語りはそのひとつで、それは親と子とその思いを共有できる貴重なひとときを作り出しました。

絵本から始まった読み語りは、次第にさまざまな本にその範囲を広げ、読み終えるのに1カ月を超える日時を要するほどに分厚い本を相手にすることになったのですが、その本の多くは妻の選んだものでした。わたしはと言えば、大学時代にはいっぱしの読書家で、その才能の豊かさ、情念の危うさにおいて太宰治を、その小説技法

の巧みさ、鋭い理知において丸谷才一を、そしてその魂のスケール、生き方の骨太さにおいて坂口安吾を敬愛し、彼らの作品を愛読していました。そして、稚拙な小説を書き始め、仲間と同人誌めいた雑誌を発行したこともあります（その雑誌はかつて明治維新の志士たちが集うたという京都・円山の翠紅館にちなんで「翠紅」と命名し、創刊号、第2号を発行するも、第3号発行のための原稿を抱えたまま、頓挫。結局、カストリ雑誌にも及ばず）。しかし、大学院に入って、本と言えば、読むのはもっぱら社会科学関係の本。そのようななかで、結婚して生まれたこどものために始めた読み語りは、本のもつ不思議な魅力と可能性を思い出させてくれるものでした。妻の選んだ本の息子たちへの読み語りをきっかけに、あらためて本の世界のすばらしさにふれることができたようです。

読み語りのなかで先の2冊以外でわたしの気に入っている本は、同じくエンデの『ジム・ボタンの機関車大旅行』、『ジム・ボタンと13人の海賊』（いずれも上田真而子訳、岩波書店）、ロアルド・ダール『チョコレート工場の秘密』（田村隆一訳、評論社）。もっとも、妻は、エンデの『モモ』（大島かおり訳、岩波書店）を激賞し、時間泥棒に時間を奪われることのない、心豊かな生活の大切さを力説。それは、近年の産業社会、労働生活の変容に伴って多くの困難な課題に直面している労働法の研究というカタイ仕事（！）に取り組んでいるわたしにとって、大きな示唆を与えているようです。

(Hiroshi Karatsu: 法学部教授 唐津 博)

✿新入生歓迎企画展✿

あのことろ君は
若かった…♪

先生の 青春グラフィティ

開催期間
☆
4月1日(月)~20日(土)
の
図書館開館中

新入生の皆さん、
御入学おめでとうございます。

待ちに待った大学生活、どのように過ごすか、
もうお決まりですか？

勉強一筋にいくのもよし、部活動に励むもよし、
留学するもよし、人生について思い悩むもよし、
ビル・ゲイツよろしく事業を興すもよし…

新入生の皆さんの数だけ、様々な大学生活が繰り広げ
られることでしょう。

ここでちょっと、既に卒業してしまった先輩達の大学生活を覗いてみませんか？

これから、勉強を教わることになる先生方の青春時代。
ひょっとすると、あなたの大学生活のヒントになるかもしれませんよ。

大学時代を 御披露くださる先生

ハンス ユーゲン・マルクス先生(学長)
[Hans Jürgen Marx]

久松英二先生(文学部神学科)

マーク・ライト先生(外国語学部英米科)
[Mark Wright]

田中実先生(法学部法律学科)

荒井好和先生(経済学部経済学科)

鈴木敦夫先生(経営学部情報管理学科)

美濃部重克先生(図書館長)

学生時代のエピソード
～一部抜粋～

今、自分の大学時代を
思い出すと心臓が
ちょっとときどきします。
なぜだろうか...

学部長を務めて、ここ南山大学に
入学したのは20年前。中学、高校が
男子校であったせいか、キーンパス
にうようよしている女学生がやたら
まぶしかった... 私はどの講義も真
剣に聴いた。居眠りするなどはしな
かった。少ししか...

試験は難である。16の時
大きな試験は終わった。万歳
と思った...ところが大学院
に行くことになり、22歳で
また受験がやってきた。

「ラディカル」が流行代でした。
現実と芸術とが私たちに
社会と時代と個人としてある
いのちを求めていました。

自分にとって大変な4年間
でした。しかし、その4年間の
出来事が私を日本に導いた
のです...

それぞれの先生の大学時代のエピソードや新入生の皆さんへのメッセージ、お薦めの本、さらになんと学生の頃の写真も公開!

この企画展の楽しみ方も十人十色。
自由に、ご覧あれ!!

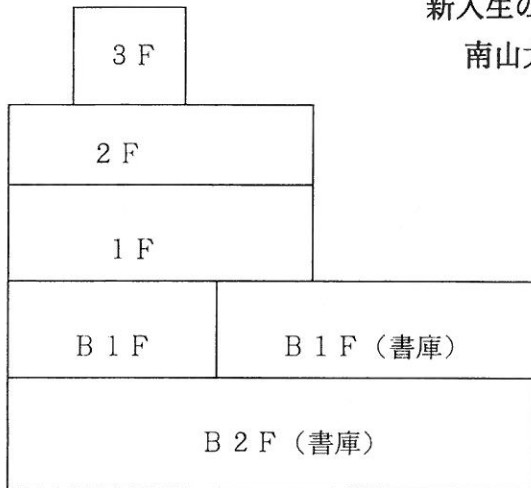
祝 入学 デュナミス誌上ライブラリーツアー

新入生のみなさん

南山大学図書館へようこそ！

これからの大学生活。テストに、レポートに、待ち合わせに、
図書館は、なくてはならない場所。

1年生の時から図書館を上手に使いこなしましょう。



さて、図書館は地上3階、地下2階の全部で5階の建物です。
閲覧室は2F、1F、B1Fで学生は自由に入出りできます。

それでは3F、B1F・B2F(書庫)は

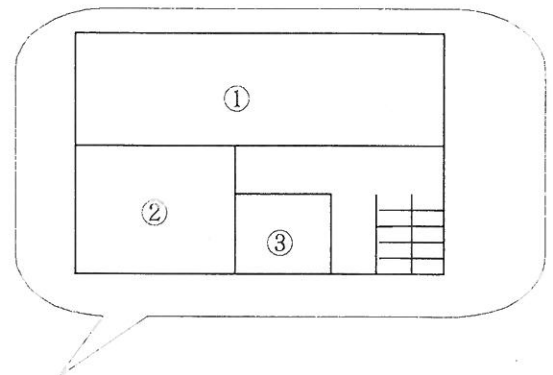
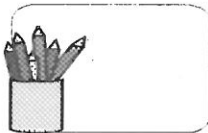
どうなっているのでしょうか？！

3階：グループ閲覧室

図書館資料を利用してグループ学習をする時に利用してください。

グループ閲覧室は予約制で1階の閲覧カウンターで受付けをしています。

※白板を利用する時はマーカーの貸出もしています。



グループ閲覧室は、
3つの部屋があります。

B1F・B2F 書庫

書庫には、図書・雑誌などの資料が40万冊以上収められています。

土曜日の午前中を除いて書庫内に入ることはできませんが、いつでも書庫の本を利用することができます。

1Fの閲覧カウンターに請求すれば良いのですが、そのためには読みたい本が何処にあるか調べなくてはなりません。

(早く GEMMA-II を覚えてね。)

えっ！ GEMMA-II って何？

GEMMA(ジェマ)IIは、南山大学図書館にどのような本が、どの場所にあるのかを探すコンピュータです。

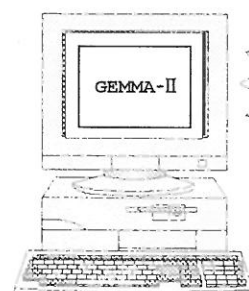
本のタイトル、作者などからあなたと一緒に本を探していきます。

各階に設置してあり、誰でも自由に使えます。

これを使いこなせばレポートもバッチリ！

使い方の説明もついていますので、

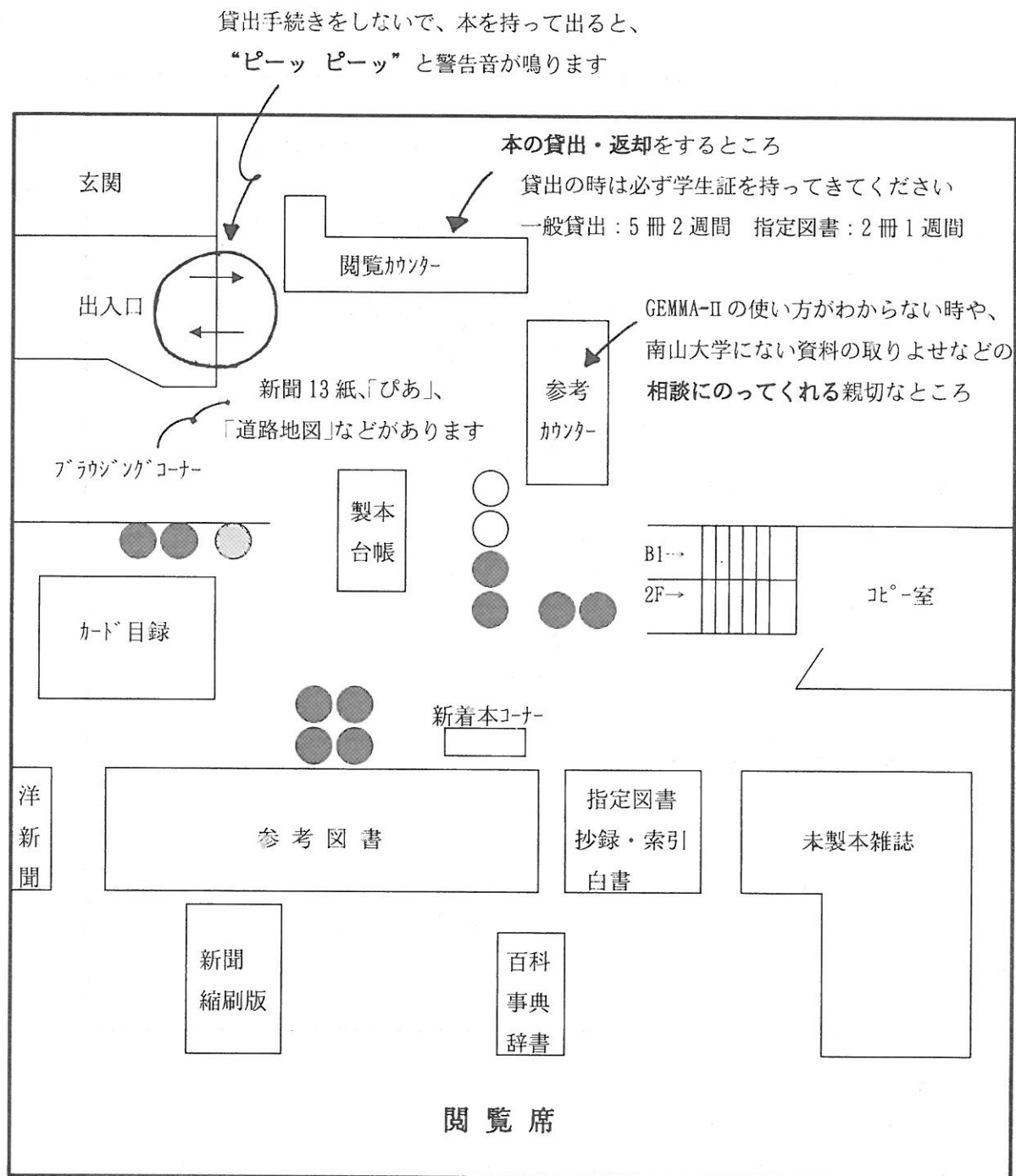
まずは怖がらずにコンピュータの前に座ってみてください。



94年秋
デビュー！

では次に、1F、2F、B1Fをご案内しましょう。

1階：メインフロアー



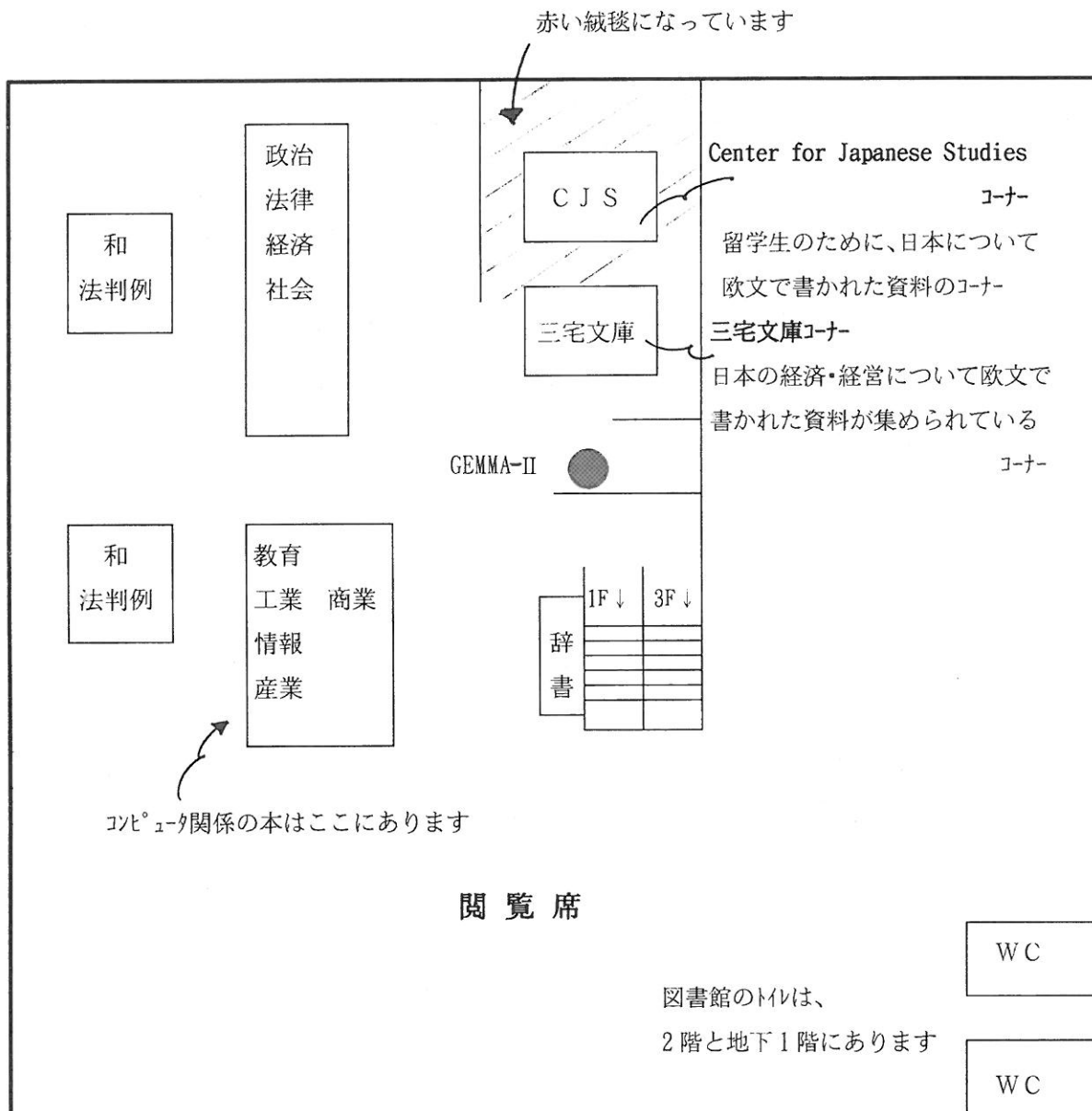
北°-室 : 3台の北°-機があります。(1枚10円)図書館の資料のみ、北°-できます。

(注)試験の時は「超」混みます。

コンピュター等 : ● ビデオ
○ CD-ROM用端末
● GEMMA-II

カード目録 : 1985年以前に南山に入った図書はカード目録で調べてください。

2階



★ 図書館Q & A ★

Q 1. 図書館はいつ開いているんですか？

A 1. 開館時間はデュナミス(図書館報)をみてください。図書館の入口に置いてあります。

Q 2. 探している本が貸出中なんですけど……

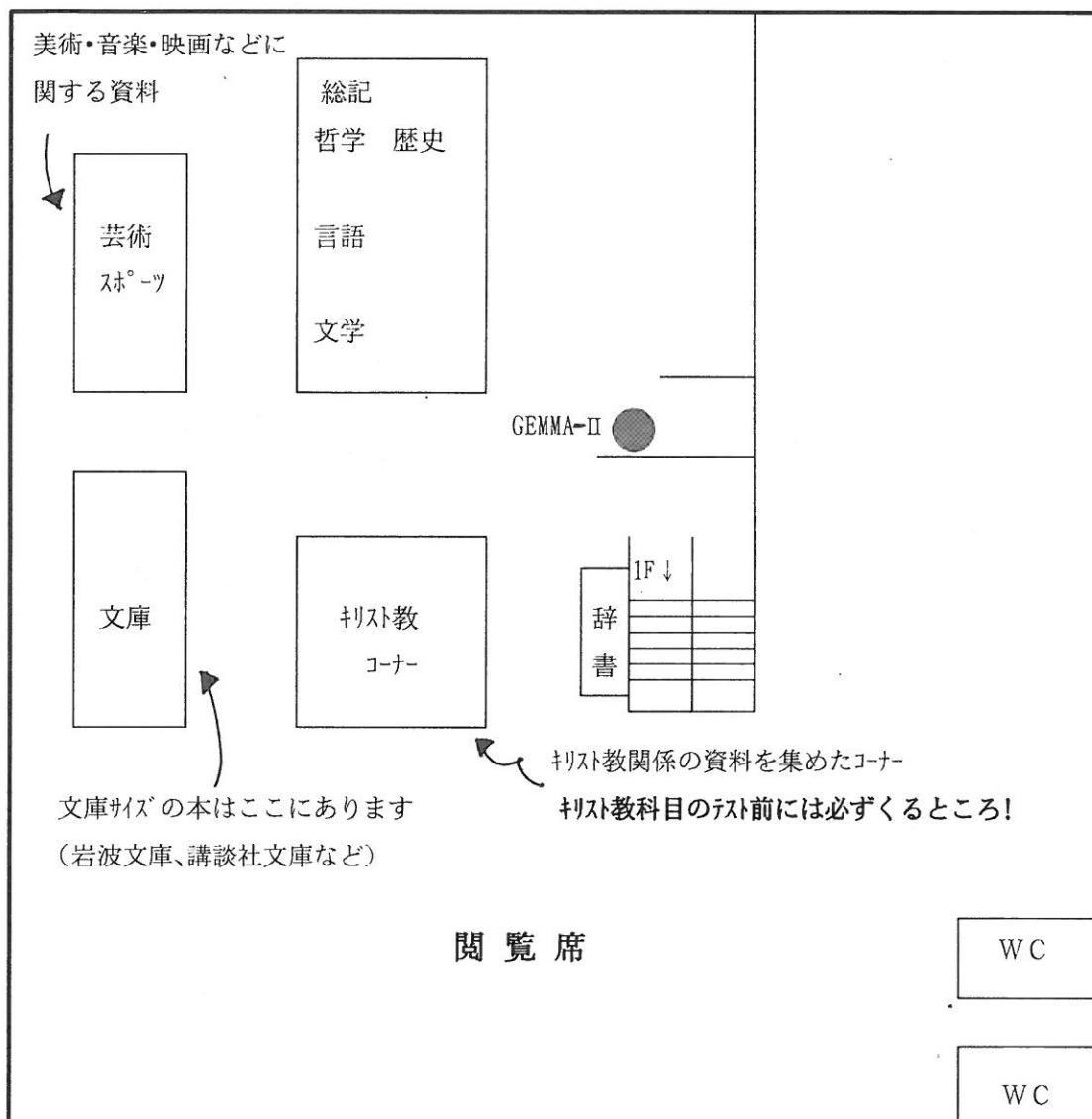
A 2. GEMMA-II で予約をする事ができます。

Q 3. 探している本が南山大学になかった!!!! どうしましょうか？

A 3. 参考カウンターで相談してください。

他大学から取り寄せたり、学生用希望図書として購入することもできます。

B 1 階



★ 図書館からのお願い ★

- ・館内での飲食、喫煙は絶対禁止です。
- ・館内でのおしゃべりはやめてください。他の人の迷惑になります。
みんなで勉強したい時は、3階グループ閲覧室を利用してください。
- ・借りた本は期限内に返してください。遅れた場合は、1冊1日10円の延滞料をいただきます。
次の利用者が、あなたが本を返すのを待っています。

★ その他 ★

- ・棚から出した本は、返本台(棚の横に置いてあります)に戻してください。
- ・返却期限内で予約が入っていない本は、貸出の更新をすることができます。
- ・夏休み、春休みの前には一般貸出の他に長期の貸出もできます。

新入生のみなさん、図書館を大いに活用して、楽しい大学生活を過ごしてください。

研究センター紹介第5弾
アメリカ研究センター
CENTER FOR AMERICAN STUDIES

今回は1棟8階アメリカ研究センターを訪問し、センター長の金井光太郎先生と職員の内藤昌恵さんにお話を伺いました。

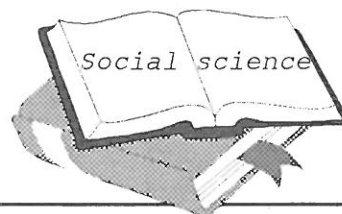
◆◆◆ 活 動 ◆◆◆

- ♣ アメリカ研究、特に政治・経済・外交・社会学に関する文献・資料の収集
- ♣ 学生・一般向けの講演会、研究者向けのセミナーの開催（それぞれ年3回前後）
- ♣ 『NANZAN REVIEW OF AMERICAN STUDIES』の編集・刊行

センター事務室には「名古屋アメリカ研究会」の事務局が設置され、アメリカンセンター（国際センター内）同様、東海地区におけるアメリカ研究のリーダー的役割を担っています。



Seminar



Presidential election

◆◆◆ 資 料 ◆◆◆

- ♣ 蔵書数 < 9割が外国語文献 > （95.3 現在）
 一般図書：16,166 冊
 参考図書：1,044 冊
 雑 誌： 66 タイトル
- ♣ 現代アメリカに関する社会科学分野の資料中心に所蔵、中でも「大統領」「移民」「議会」資料は特に豊富

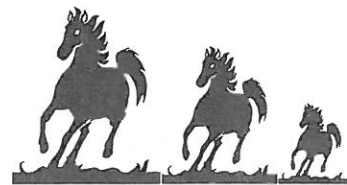
アメリカ研究のための基礎的資料は体系的に網羅されており、アメリカ学初心者にも、アメリカ通にも役立つ資料が盛沢山あります。1985年以後の蔵書は図書館のGEMMA-IIで、それ以前のはアメリ研および図書館にあるカード目録で探すことができます。



金井先生

洋書ばかりと敬遠せず、一度訪ねてください。特に英米科生やアメリカに関する勉強をしている学生は、1年生のうちから足を運んで、どんな資料があるのか眺めてほしいです。USCA (United States Code Annotated) という法令集やNBER (National Bureau of Economic Research) のワーキングペーパーも豊富に揃っているので、英米科生のみならず法学・経済学・経営学を学ぶ学生にも利用価値は高いはずです。

というわけでいざアメ研へ・・・



◆◆◆利用方法◆◆◆

学生証をカウンターに提示して利用カードを作ってもらいましょう。

◆◆利用時間◆◆

平日：10:00a.m.～11:30a.m.

12:15p.m.～16:30p.m.

土曜：10:00a.m.～12:00p.m.

(現在第1・3土曜のみ)

◆貸出◆

一般図書は2冊2週間まで

場 所

L棟8階

カウンター

807
事務室

808
センター長室

入口

入口

809
参考図書
雑誌

IT
-6-
VIT

810・811
図書館



Gone with the Wind

1996年はアトランタオリンピックおよび大統領選挙の年です。また、アメリカ研究センター創立20周年の年でもあり、シンポジウムの開催も予定されています。

これを機にアメリカ研究センターを開拓してみませんか。



GEMMA-II ワンポイントアドバイス

GEMMA-II で雑誌論文をさがすには

- ・大塚常樹「宮沢賢治の心的現象論、その萌芽と展開」：ユリイカ 26(4) [94.4] p.144～150

レポートや卒論のために資料を探していて、よく上記の様な論文に辿り着くことがあります。
ここで、実際にこの論文をみるにはGEMMA-IIでどのように検索したらよいのでしょうか？

★GEMMA-IIで探せるのは、図書、雑誌の
タイトル・図書の著者、雑誌の編者です。雑誌
に掲載されている論文名や論文執筆者では、
検索できません。この場合には、雑誌のタイトル
が解っているので書名検索(b)で「ユリイカ」と
入力して検索します。結果は、4件。

GEMMA-IIの検索はキーワードが
ポイントです。 気を付けてね！

検索

ワード (a)

(b)

(c)

出版年

図書/雑誌 雑誌 雑誌 雑誌 雑誌 雑誌

検索条件

検索結果

1 <宮沢賢治の心的現象論> 大塚常樹

2 <宮沢賢治の心的現象論> 大塚常樹

3 <宮沢賢治の心的現象論> 大塚常樹

4 <宮沢賢治の心的現象論> 大塚常樹

AND OR

印刷 印刷 印刷

(注) (ワード検索(a)・書名検索(b)・著者名検索(c))

とも論文名「宮沢賢治の心的・・・」や論文執筆者名「大塚常樹」では検索できません。)



結果一覧

書名	著者	出版年
ユリイカ	宮沢賢治	1972
ユリイカ	宮沢賢治	1972
ユリイカ	宮沢賢治	1972
ユリイカ	宮沢賢治	1972

めざす「ユリイカ」の請求番号は
Z/910/Y99 で地下1階の書庫にあります。
請求票ボタンをクリックし学生番号を入力し印刷！
閲覧カウンターに持っていき出納してきてもらう。

これで論文は無事あなたの手元に。

GEMMA-IIで探して南山になかった時は、レファレンスカウンターで相談を！！



図書館の1Fには10台のGEMMA-IIの他に3台のCD-ROM専用の端末があります。

えっ?! 全部GEMMA-IIだと思ってた!!

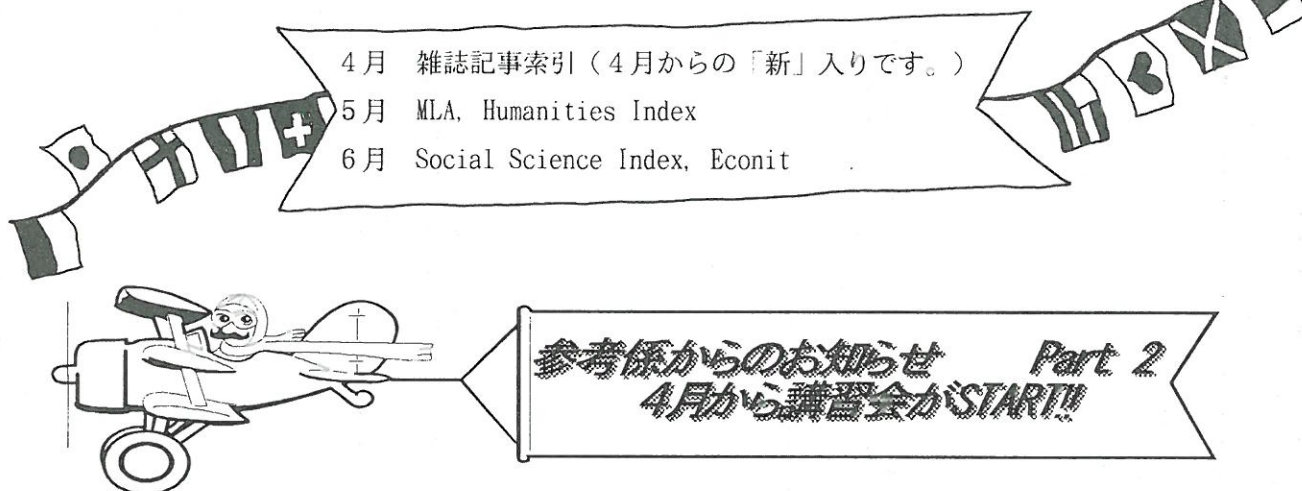
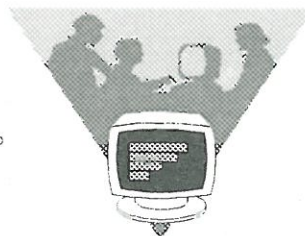
一度も利用したことがない人も多いのではないのでしょうか?

そこで4月から1年間、参考係カウンター横にある端末で

図書館に所蔵しているCD-ROMを紹介していくことになりました。

初心者にもわかりやすいマニュアルを用意しておきます。

なお、4月から6月に紹介するCD-ROMは次のものです。



4月から6月まで、図書館利用講習会をおこないます。

これは、授業単位で授業の時間帯に参加するものと、皆さんが決められた曜日・時間帯の中から自由に選択して個人的に参加できるものと2種類があります。授業単位の場合は、先生が申し込まれますが、個人の利用講習会については、ライブラリーカレンダーに掲載されていますので、このデュナミスや図書館1Fの端末おまかせ君で確認してくださいね。講習会はそれぞれ初級と中級に分かれています。初級ではおもに図書館のご案内や、GEMMA-IIの使い方など、中級では図書館にある資料の探し方などについてご説明します。皆さんのご参加をお待ちしています。



ライブラリーカレンダー

1996. 4～1996. 6

4 月						5 月						6 月								
9:00		4:30		6:30		講 書	9:00		4:30		6:30		講 書	9:00		4:30		6:30		講 書
	0:00		6:00		8:00			0:00		6:00		8:00			0:00		6:00		8:00	
1(月)						★	1(水)							1(土)						★
2(火)							2(木)						★	2(日)						
3(水)							3(金)	憲法記念日						3(月)						★
4(木)						★	4(土)	国民の休日						4(火)						
5(金)							5(日)	こどもの日						5(水)					初	
6(土)						★	6(月)	振替休日						6(木)						★
7(日)							7(火)							7(金)					中	
8(月)						中 ★	8(水)					中		8(土)						★
9(火)							9(木)						★	9(日)						
10(水)						初	10(金)						初	10(月)					初	★
11(木)						★	11(土)						★	11(火)						
12(金)							12(日)							12(水)					中	
13(土)						★	13(月)					中	★	13(木)						★
14(日)							14(火)							14(金)						
15(月)						★	15(水)					初		15(土)						★
16(火)						初	16(木)						★	16(日)						
17(水)						中	17(金)							17(月)						★
18(木)						★	18(土)						★	18(火)					中	
19(金)							19(日)							19(水)					初	
20(土)						★	20(月)						★	20(木)						★
21(日)							21(火)					初		21(金)						
22(月)						★	22(水)					中		22(土)						★
23(火)							23(木)						★	23(日)						
24(水)						初	24(金)	記念式典のため4:00閉館						24(月)						★
25(木)						中 ★	25(土)						★	25(火)						
26(金)							26(日)	創立記念日						26(水)					中	
27(土)						★	27(月)						★	27(木)					初	★
28(日)							28(火)							28(金)						
29(月)	みどりの日						29(水)					初		29(土)						★
30(火)							30(木)					中	★	30(日)						
							31(金)													

開館時間

講：図書館利用講習会 初：初級編 中：中級編

書：★ 3・4年次生書庫入庫日（月・木曜 1:00～4:30p.m., 土曜 9:00～11:30a.m.）

（1・2年次生は土曜日のみ）

《編集後記》

新入生の皆さん、入学おめでとう。

花も嵐も乗り越えて（坂道も）

4年間がんばってください。

（タイトルデザイン:加藤富美）

南山大学図書館報 デュナミス No.29
1996.4.1 発行南山大学図書館 広報委員会
編集委員：伊藤（法），児玉，太田，進士
〒466 名古屋市昭和区山里町 18
Tel. 052(832)3707
Fax(G3) 052(833)6986